

# 和光会グループ

岐阜市・医療・福祉

平成27年度  
認定

職員・管理職ともに7割が女性。1995年に事業所内保育施設を開設するなど、子育てと仕事の両立を目指した取り組みに早くから着手し、医療・福祉・地域一体の子育て体制を充実させている。

従業員数／男性331名 女性937名 計1268名 ※平成27年4月現在



事業所内託児所に子どもを預けながら作業療法士として働く子林有香さん。

## 地域密着の子育て支援充実

早くから女性が子育てでも働き続けられる環境づくりに取り組んできた和光会。1995年に事業所内保育施設「バンビ寺田(定員55人)」、1999年に「バンビ岐阜(定員20人)」を設置し、2008年からは長期休暇中の学童保育も実施してきた。利用料はどちらも1時間100円で、第2子以降

は50円と格安。小学生も含めた病児・病後児保育も受け入れ、地域住民も利用可能だ。保育所を利用する作業療法士の子林有香さんは「子どもが体調を崩しても、病院と連携しているので安心」と話す。

また2011年からは、同会全体で「誕生日を祝う会」を月1回開催し、家族からのメッセージ映像や手紙を贈って、職員同士が誕生日を祝うなど、職員や家族との絆を大切にする風土づくりにも努めてきた。こうした取り組みが功を奏し、育児と仕事の両立が困難で離職する職員ゼロを、9年間保っている。

2010年には同会運営のグループホーム「ファミリーケア北方」に、乳幼児親子が集う「マシュマロらんど」を開設。育児中に孤立しがちな母親が、高齢者や地域の母親とふれ合う場を設けた。さらに



「マシュマロらんど」で地域の乳幼児親子が交流する様子。

2012年には多世代交流の場として「地域支え合いセンター：ひなたぼっこクラブ」をスタート。現在は北方町と岐阜市内で開設し、地域住民主体の運営を通して、地域全体で子育てに取り組む土壌づくりに努めている。